

強くやさしく男の子 やさしく強く女の子

11月の校長講話（要約） 「ものの見方や考え方は一つではない」

先週は学習発表会で素晴らしい姿を見せてもらいました。そして、今日は全国農業担い手サミットの夜の会議で黒森少年歌舞伎の発表があります。この日のために7月から練習してきました。全国から集まった皆さんに練習の成果を見せて来てください。そして、黒森歌舞伎を大いにPRしてきてください。それでは、代表の皆さん立ちましょ。拍手で応援ましょ。

11月の話は「ものの見方や考え方は一つではない。」ということです。

さて、校長先生が好きなテレビ番組の一つに「チョコちゃんに叱られる」というのがあります。その中で校長先生の話はなぜ長いかということが話題になっていました。その答えは、校長先生の話す内容をまとめた本、ネタ本があるからということでした。その答えを確かめようと校長室に本を探しに来た友だちもいました。校長先生の話が長いかと聞いたら、長いと言われました。でも、残念ながら今日も話は短くならないかもしれません。と言うのも私の話が長いのは、みんなのことが大好きだからその気持ちを伝えたいし、もっとこんなことをがんばってくれるとうれしいな、こんな子どもたちに育ってほしいという気持ちがたくさんあるからです。つまり、校長先生の考えとしては、NHKの出した答えは間違っていないかもしれませんが、正解とはいえません。こんな風に、テレビが言ったことだから正しいとは限らないかもしれませんし、答えが一つとは限らないというのが今月の話です。

それでは問題をかけるので考えてください。1年生の皆さん、考えてください。

「さかなが7匹います。3匹もらいました。今、何匹いますか。」

10匹と考えた人、4匹と考えた人、3匹と考えた人と様々であってほしいのです。この問題からは、どのような受け取り方をするかさまざま考えられるからです。自分がこう思うから、他の考えは違うというのではなく、自分とは違う友だちの考えや思いにも関心をもってほしいと願います。どうしてそう思うのかということに興味をもってほしいのです。

別の例を紹介します。ライオンが子どものシマウマを追いかけている場面があります。みなさんはどんなことを考えますか。シマウマの目線で考えるか、ライオンの目線で考えるか、自然の厳しさで考えるかなどとらえ方が人それぞれであるはずで。

友だちのさまざまなものの見方や考えかたにふれるから勉強が楽しいのです。友だちの考えを聞いて、やはり自分はこう思うという場合や友だちの考え方のほうがいいかもと思う場合もあるかもしれません。「ものの見方や考え方は一つではない。」のです。

【児童の感想】

○ ものの見方は一つだと思っていたけど、人によって見方はちがうんだなと思いました。

(上野優斗さん)